

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援事業所のひら 近江八幡鷹飼町			公表日		2026年 2月 27日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		動の活動スペース・静の活動スペースを分けている他、個別スペースを設け活動の幅を広げています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		児童2名に対し、指導員1名を基準に配置しています。	強度行動障害のある児童に対しては、極力マンツーマンで対応する。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		入口から活動空間の動線に段差はなく、スムーズに出入りが出来ている。大きなホワイトボードを使って、はじまりの会で当日のスケジュールを分かりやすく伝えている。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		活動後に30分間、活動前に1時間をかけて清掃し、常に清潔な空間を保っている。約50坪ある活動スペースで伸び伸びと過ごせている。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		学習部屋にも集団で活動する机と、パーティションに囲われた1人のスペースを提供している。パニックや痙攣が起きた時に使用する、個室ルームも完備している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		平日は児童を受け入れる前に15分～30分程度のミーティングを行っています。児童の近況や注意点を情報共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		年に一度アンケートを実施し、保護者様の意向を確認しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		毎日のミーティングにて情報交換と共有。半年に1回は管理者と個別面談を実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		外部評価を受けていない為、今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		積極的に外部研修（行動支援従業者養成研修）に参加しています。	強度行動障害支援者養成研修や行動支援従業者養成研修に勤務として受講してもらっています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		ホームページにて公開しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		ご利用開始前に利用児童の生活や様子について聞き取り、書類にてご提出いただいています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		学齢期ファイルや個別調査票等で必要な情報を取得・整理し、日々の行動状況を記録（日案）で残し、対応しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		個別支援計画や日々の課題や支援内容を職員間のミーティングで共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		様々な角度、立場、資格の専門知識を交え、日々の行動観察をアセスメントしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		個別支援計画に家族支援や就労支援も含めて作成しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		基本の流れは固定されているが、日々行う集団活動は出勤する全職員で話し合って決めています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		外出活動や季節の行事を取り入れ、固定化しないよう努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人一人の課題・目標を職員が認識して個別活動・集団活動を組み合わせ、支援を提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日送迎前に朝礼を行い、事務連絡・支援上の留意点・引継ぎ事項・職員の担当や動き等の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎の都合上、支援後の打ち合わせが難しいため、連絡ノートや日案への特記事項の記入などで報告を行っています。	代替として朝礼を用いて共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、連絡帳にてその日の様子等記録を取っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		評価を行った上で、支援計画を更新しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		支援が偏らないよう留意しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		重度障害児童が多く利用されているので、見守りや余暇支援が中心となっているが、意思決定できる児童については尊重している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者もしくは管理者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様からの情報提供や、学校お迎え時の申し送り（必要があれば）事業所内のご様子もお伝えしています。	年間計画や下校時刻等は保護者様からいただいております。どうしても不明な場合のみ学校に確認しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定などは保護者様から共有、当日の様子や留意点は担任の先生から確認しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		見学や体験利用の様子を見て、必要であれば児童発達支援事業所に情報提供を求めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		直接、サービス事業所とのやり取りや、相談支援事業所や社協を通じて提供しております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期的な交流はありませんが、未就学児の見学に同行された際に情報共有、助言をいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			重度障害児童が多いため、地域の児童クラブとの交流は難しいが、今後検討をしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会、放課後等デイサービス連絡協議会、余暇支援検討会議などに積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳を使い、日々の様子等を伝え合うようにしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様からのご相談に、都度対応させていただいております。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		約1時間かけて契約時に説明させて頂いております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご自宅送迎の申し送り時やLINEなどを用いて保護者様の意志を確認しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		半年に1回以上、個別支援計画を作成し、保護者様に説明、同意を得ております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家庭ならびに学校での様子をお伺いし、状況にあった助言・支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			現在、父母会は実施しておりません。個々に相談を受けて、レスパイトケア含め支援することは多いが、集団で実施することのメリットを感じない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談担当窓口を開設しています。ご契約時に説明しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ご利用希望表やご利用確定表の案内に合わせて、必要な情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員から秘密保持の誓約書もらっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カード・マカトンサイン等、保護者様に相談をさせて頂きながら使用しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		事業所の行事に参加いただくことは行っていますが、自治会館やグラウンドを使用させて頂いております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、職員に周知しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、避難訓練などを実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		昨年投薬調査を実施しました。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギーの有無を確認しております。投薬調査を定期的実施し、アレルギー等の変化を調査しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		日々、安全管理を徹底しております。ヒアリハットなどを用いて、事前に起こりえることを予測し未然に防げるように対応しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			ご家族に周知はしておりませんが、非常時の対応など必要な事項については周知できるよう調整します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ファイルを作り保管しています。また朝礼時に話し合う事で情報共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会で定期的に会議や研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束に関する同意書を頂いております。		